

## 9月定例議会の一般質問(抜粋)



① **コンテンツの整備による観光誘客の促進について**。観光戦略本部会議で掲げている令和12年の数値目標を達成するためには、映像作品の口ケを誘致し、その口ケ地を観光に活かす「コンテンツツーリズム」を推進するなど、従来と異なる新たな観光地づくりの取組が必要と考えますが、コンテンツの整備による観光誘客について知事の考えをお聞かせください。

令和8年放送予定の大河ドラマ「豊臣兄弟」に向けてプロモーションや受け入れ態勢等で大和郡山市など関係市町村と協議を始めており、また愛知県等とも広域周遊観光促進について連携を進めている。コンテンツツーリズムは外国人観光客の誘客にも有効であると聞いているので県としても推進していく。



② **奈良県立民俗博物館及び民俗資料整理の今後の方向性について**。県立民俗博物館の展示スペースについてどうしていくのか、スケジュールも含めて改めて知事のお考えをお聞かせください。また、県で保管している民俗資料の整理について、現在の作業状況と今後の計画について合わせてお聞かせください。

(仮称)民俗資料収集保存方策検討委員会を10月中に設置し、令和7年度中に収集や保存、除籍のルールを策定。既に2校の大学教員から協力の申し出があったが、他にも協力を仰ぎ整理を加速させていく。**展示室を収蔵庫に改修する「収蔵展示」**という手法も参考に、デジタルアーカイブ化も含め今後の方向性を考えていく。



③ **奈良県教育振興大綱について**。令和7年度に策定予定の第3期奈良県教育振興大綱について、知事は、本県の子どもたちがどう育ち、どのような大人になって欲しいとの願いを込めて策定されるのか、お考えをお聞かせください。

私個人の教育観として**①自立した個人・自立した大人②自分の頭で考え、自分の言葉で意見が言える大人③世の為、人の為に尽くせる大人** になってほしいと思っている。就学前教育の充実など第2期教育振興大綱における普遍的に重要なことは受け継ぎつつ、次期教育大綱について総合教育会議に諮っていきたい。



④ **小中学校における1人1台端末の活用について**。来年度から端末の更新も始まるが、1人に1台配布されている端末について、今後どのように授業などで活用していくのか、県教育委員会の方針についてお聞かせください。

端末の日常使いは着実に進んできている。本年度16の小中学校を指定し、端末を使用した指導のあり方を研究しており、どうすれば主体的な学びを進められるか好事例を収集している。来年2月の研修会で発表し教員の指導力向上を図っていく。



■ ②民俗博物館について。一般の来館者数は直近でも年間約3000名程度と決して多くはないが、**県内の約4割の小中学校から社会科見学等で来ている**。全国的に見ても博物館の閉館は散見され、市町村の民俗博物館がもし閉館する場合にはその受け皿となれるようにすべき。そして**子どもたちのためにという視点で博物館を発展させていくべき**と提言しました。